

# 土壌診断事業

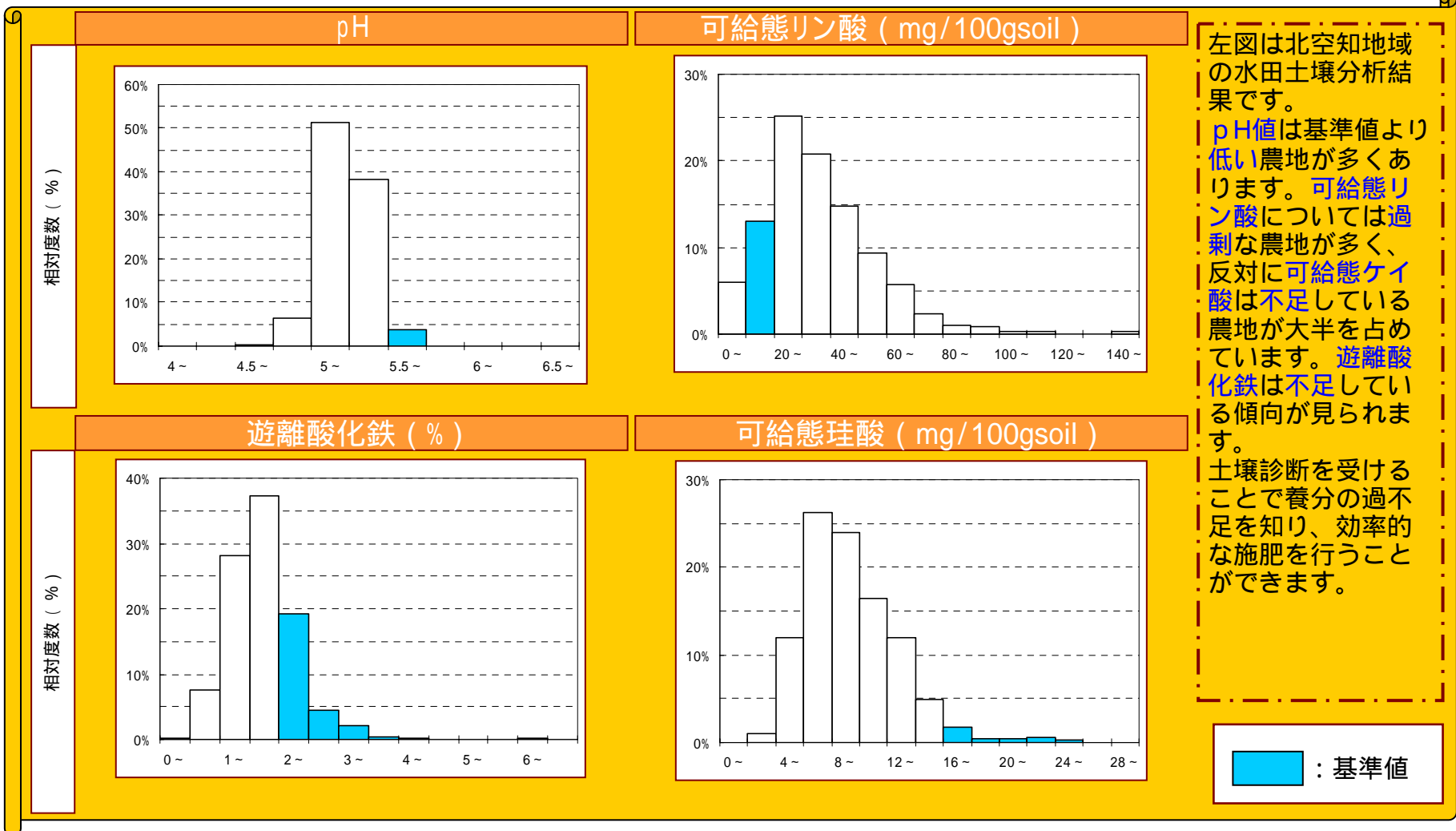
## ～ 農産物の価値向上を目指して～

### 【概要】

北海道では平成3年からクリーン農業を推進しており、平成13年3月には「21世紀クリーン農業推進方向」が新たに策定され、環境保全型農業を積極的に進めています。

当財団でも平成3年度からクリーン農業への取り組みの一環として、空知北部地域の農地を対象に土壌分析を行っています。さらに、これらの土壌分析結果とほ場の位置をほ場カルテとして**土壌環境データベース**に蓄積し、地図情報システムと連動させた**土壌診断位置システム**を構築しています。土壌診断に基づく適正な施肥管理を行うことにより『安全・安心・品質の高い農産物の生産』などの付加価値を高めることができます。

### 【土壌分析データ その1】～水田の土壌分析結果～



### 【土壌分析データ その2】～水田を中心とした土地利用型農業活性化策に関わる小麦・大豆作付予定ほ場の土壌分析結果～



- ・ 土壌分析データの追加及び整理 (土壌診断位置システムに追加)
- ・ 土壌分析結果を踏まえた土壌診断及び作物栽培の専門家による営農指導



加里の基準値 (30mg/100g)を超えている農地が多く見られ、土壌診断による効率的な施肥が必要です。